

「地域医療のなかの在宅医療」

座長 | **和田 忠志** [いらはら診療所在宅医療部長 全国在宅療養支援診療所連絡会研修教育局長]

略歴

1990年 東京医科歯科大学卒業 医療法人財団健和会臨床研修医
 1992年 東京都立広尾病院神経科
 1994年 医療法人健和会蒲原診療所
 1997年 医療法人財団健和会みさと健和病院
 1999年 千葉県松戸市にあおぞら診療所開設・同院長
 2004年 あおぞら診療所院長退任、医療法人財団千葉健愛会理事長
 2009年 高知県高知市にあおぞら診療所高知潮江開設・同院長

2012年10月 あおぞら診療所高知潮江院長退任、いらはら診療所在宅医療部長

2013年12月 国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部 非常勤医師併任

その他役職／全国在宅療養支援診療所連絡会理事・研修教育局長、東京医科歯科大学臨床教授、日本在宅医学会理事、日本高齢者虐待防止学会評議員、高知県在宅医療提供体制検討会議委員、千葉県医師会在宅医療推進委員会委員、松戸市高齢者虐待防止ネットワーク委員

演者

大橋 英司 大橋内科胃腸科
亀井 克典 地域医療研究会 / かわな病院 理事長
亀井 敏光 松山市医師会
山下 俊樹 六ツ木診療所
鈴木 央 鈴木内科医院

概要

本企画は「普通の開業医」が、在宅医療を行うときの喜びや苦悩や制度に対する思いを語り合うために企画したものである。

「かかりつけ医の在宅医療」が注目されている。日本医師会と全国在宅療養支援診療所連絡会が昨年作成したテキストと映像は「かかりつけ医の在宅医療-超高齢社会私たちのミッション-」と銘打たれている。日本医師会のなみなみならぬ期待がみなぎっている。

10年、20年とかかった患者やその家族と深い信頼関係のもとで、在宅医療に患者を導入し、最期まで診療することの重さと深さ、その仕事の尊さは述べるまでもない。しかし、「かかりつけ医」が5時になると電話を留守番電話とし、夜間や休日に対応せず、かかりつけ患者に対して在宅医療を実施しないことも多かった。その意味では、いま「かかりつけ医の在宅医療」が強調されるのは、「かかりつけ医にしっかりしてほしい」というメッセージともいえるかもしれない。

広島県尾道市の片山壽先生の言葉で「一馬力」の在宅医という言葉がある。医師一人で在宅医療を行う

医師のことである。一馬力の在宅医は24時間対応可能なのか。私たちは、昨年度、全国13012ヶ所の在宅療養支援診療所管理者に調査を行った。「医師が在宅医療を業として継続するにあたってのハードル」について回答した者2518名のうち、「24時間対応の困難さ」を挙げた者は1896名(回答者の75.3%)に上り、ハードルの第一位であることが確認された。このことが一馬力の在宅医の最大の悩みではないかと思う。

では、かかりつけ医は頼りないのか、ということ、そうではない。在宅医療専門クリニックがかなり頑張っているエリアでも、訪問診療件数総数で見ると、かかりつけ医のトータルな訪問患者数が多い。医師一人あたりの在宅患者は比較的少数で、システムティックな在宅診療システムは持たないが、国内全体でも、在宅療養支援診療所以外の在宅医のシェアは大きいと推測され、その意味で良心的なかかりつけ医は頑張っている。

外来や病棟医療も行いつつ、地域のトータルなニーズに応えつつ活躍する在宅医の現場での実践に基づく討論を深めたいと思う。